

トラック運送業における取引環境の改善、労働時間の短縮等に向けた環境整備を図る取り組みの一つである、生産性向上セミナーを各県で開催。セミナー開催にあたっては、九州経済産業局及び九州農政局とも連携しており、今後もこの課題の改善について協働して対応していく。

熊本会場での開催状況

- ・日時：平成29年11月16日(木)
- ・場所：熊本県トラック協会 研修センター 3階会議室
- ・受講者：82名(荷主等30名)
- ・報道機関：1社(物流ニッポン)



講演内容

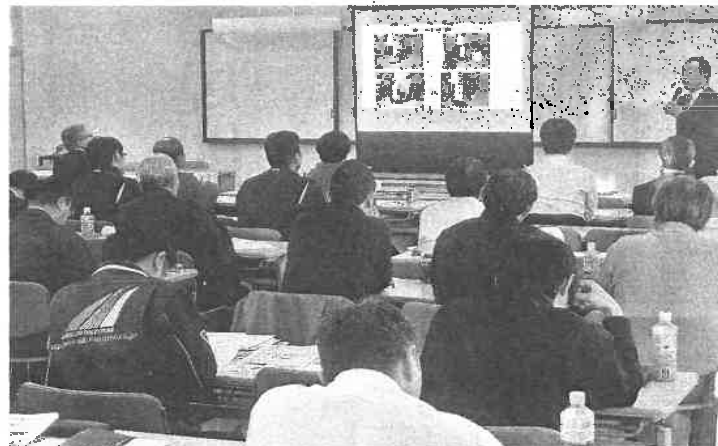
1. 適正な取引条件への改善について 九州運輸局 貨物課
トラック業界の現状、標準運送約款の改正、荷主勧告制度、荷待ち時間の記録義務付け等の説明
2. トラック運送における生産性向上方策・中継輸送について (株)富士通総研
対策のポイントと実務の取扱いについての説明
3. 事例発表 「わが社の働き方改革」 (株)ケイワード九州
荷主企業の荷役配送業務担当者が、トラック運転手の視点から取引相手社の運転手の長時間労働の実態を聴き、荷主社の経営トップの協力も得て、荷下ろし業務の協力体制を強化し手待ち時間を大幅に削減するとともに、荷主企業においても長時間滞留の解消や出荷時間の管理などにも効果を生むこととなった取組内容を発表

九州運輸局では

- ・「働き方改革実行計画」において、トラック運送業にも時間外労働の上限規制が5年後には適用される予定であり、このままでは、深刻なドライバー不足を解決できず、この先、物流が機能しなくなるおそれがあると考えている。
- ・働き方改革の実行には、取引環境・長時間労働の改善が不可欠であり、事業者のみならず荷主さらには消費者へ理解・協力を得ながら、関係者が一丸となって取り組みを行っていくことが重要である。
- ・このため、運送事業者を主体とした当セミナーへ、多くの荷主企業にも広く参加を呼びかけ、業界の現状と施策等を周知することとした。

生産性向上セミナー 荷主企業が成果報告

— 熊ト協 —



荷主企業を含めて150人を超える参加者で満員

が多い夏場及び商品入れ替え時の冬場における荷待ち時間の100%解消の納品時間の厳守の誤出荷の100%解消の定時退社——を挙げた。熊本地震の発生後、物流センター倉庫にパレットストレッ

【熊本】熊本県トラック協会（住永豊武会長）は16日、生産性向上セミナーを

開き、荷主企業を含めて150人を超える参加者で満員になった。

家電製品総合卸のケイワ九州（竹中康彦社長、

熊本県嘉島町）の竹中行康専務が、働き方改革の取り組みを紹介。「複数のトラック運送事業者との連携強化で、効率的な物流の仕組みを構築し、無駄を無くした」と述べ、ドライバーの手待ち・荷待ち時間が30分〜1時間の間で、それぞれの業務が短縮できた事例を報告した。

竹中氏は、ケイワドの荷下ろし業務の担当者がトラック業界の出身者で、ドライバーの長時間労働の是正に理解が深かったことや、若い社員から出た提案を経営トップが理解して実践したことが改善に結び付いた点を成功の要因に挙げた。

今後の課題に、①出荷量

このほか、富士通総研ヒジネスアナリティクスグループの龜井千鶴子・シニアマネジングコンサルタントが、生産性向上の方策と原価計算の活用、中継輸送のポイントを解説した。終了後、ケイワド九州が実践した生産性向上への積極的な取り組みに対し、熊本運輸支局長と熊本県トラック協会長の連名で感謝状が贈られた。

（武原順）

配送網統一で効率化

佐賀市で セミナー 運送会社、取り組み報告

運送業者の業務効率化を考えるセミナーが佐賀市で開催され、配送網の統一など長時間労働といった業界の課題解決の糸口を探った。熊本運輸支局長と熊本県トラック協会長の連名で感謝状が贈られた。



佐賀市で開かれたセミナーで、熊本運輸支局長と熊本県トラック協会長の連名で感謝状が贈られた。

熊本と鹿兒島県は別々に設定していた配送網を統一し、トラックの台数を減らすことを考えている」と述べ、担当者代表を擁護し、より良い配送環境を手に入れるべきと強調した。